

調査記録及び調査集計表記入表示（凡 例）

管 路 施 設	種 別	記 号
本管・取付け管	陶 管	T.P
	鉄筋コンクリート管	H.P
	硬質塩化ビニル管	V.P
	そ の 他	
汚 水 ま す	L 形 ま す	30 35 50
	丸 ま す	5 15 20
	そ の 他	
雨 水 ま す	道路排水用雨水ます	●
	宅地排水用雨水ます	・
取 付 け 管	取 付 け 管	—————
	取付け管（直取付け）	……………
	ソ ケ ッ ト の み	—————×

調査判定基準(案)

スパン全体で評価	ランク		A	B	C
	項 目				
	1) 管 の 腐 食		鉄筋露出状態	骨材露出状態	表面が荒れた状態
	2) 上下方向のたるみ	管きょ内径 700mm未満	内径以上	内径の 1/2 以上	内径の 1/2 未満
		管きょ内径 (700mm以上 1650mm未満)	内径の 1/2 以上	内径の 1/4 以上	内径の 1/4 未満
		管きょ内径 (1650mm以上 3000mm以下)	内径の 1/4 以上	内径の 1/8 以上	内径の 1/8 未満

管一本ごとに評価	ランク		a	b	c
	項 目				
	3) 管の破損	鉄 筋 コンクリート管 等	欠 落 軸方向のクラックで 幅 5 mm以上	軸方向のクラックで 幅 2 mm以上	軸方向のクラックで 幅 2 mm未満
		陶 管	欠 落 軸方向のクラックが 管長の 1/2 以上	軸方向のクラックが 管長の 1/2 未満	—
	4) 管の クラック	鉄 筋 コンクリート管 等	円周方向のクラックで 幅 5mm 以上	円周方向のクラックで 幅 2mm 以上	円周方向のクラックで 幅 2mm 未満
		陶 管	円周方向のクラックで その長さが円周の 2/3 以上	円周方向のクラックで その長さが円周の 2/3 未満	—
	5) 管 の 継 手 ズ レ		脱 却	鉄筋コンクリート管等： ： 70mm 以上 陶 管： 50mm 以上	鉄筋コンクリート管等： ： 70mm 未満 陶 管： 50mm 未満
	6) 浸 入 水		噴き出ている	流れている	にじんでいる
	7) 取付け管の突出し 注3		本管内径の 1/2 以上	本管内径の 1/10 以上	本管内径の 1/10 未満
	8) 油 脂 の 付 着 注3		内径の 1/2 以上閉塞	内径の 1/2 未満閉塞	—
	9) 樹 木 根 侵 入 注3		内径の 1/2 以上閉塞	内径の 1/2 未満閉塞	—
	10) モ ル タ ル 付 着 注3		内径の 3 割以上	内径の 1 割以上	内径の 1 割未満

- 注 1. 段差は、mm単位で測定する。また、その他の異常(木片、他の埋設物等で上記にないもの)も調査する。
2. ランク A(a), B(b), C(c) における異常の程度(判定の基準)については、「下水道管路施設の緊急点検実施マニュアル(案) 平成19年3月」の「表2-7 評価のランク付けと判定基準例」及び「表2-8 管1本ごとの評価のランク付けと判定基準例」を参考とする。
3. 7)取付け管の突出し、8)油脂の付着、9)樹木根侵入、10)モルタル付着については、基本的に清掃等で除去できる項目とし、除去できない場合の調査判定基準とする。

No.

[illegible]

調查集計表

[illegible]

本管調査記録表

[illegible][illegible]

主1 考察期には、管轄施設の損傷状況に加え、道路交通状況、生活環境状況、近接工事、損傷原因、損傷の進行性、損傷の新旧等について記述すること。

主2 () 内の数値は、スパン全体で評価する「管の腐食」、「上下方向のたるみ」、清州等で除去可能な「根木損傷入」及び「取付け管の突出し」を除いたものである。

本管調査記録表

[illegible]

取付け管用調査記録表

[illegible]